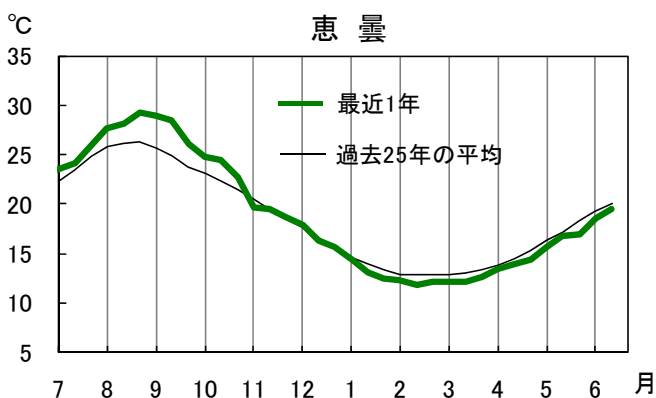
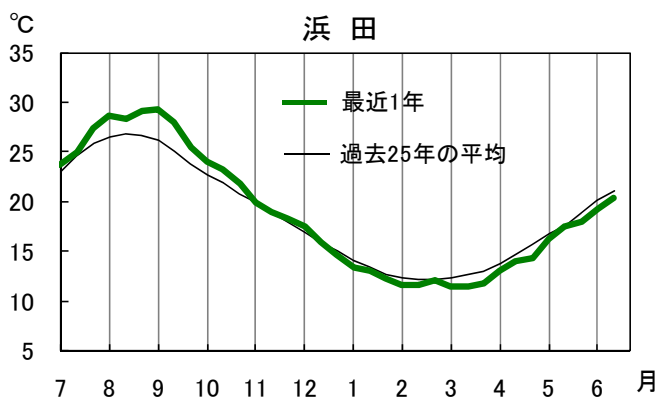




《5～6月の海況》

5月	月平均	平年差	評価
浜田	17.2℃	-0.7℃	やや低め
恵曇	16.6℃	-0.8℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区及び恵曇地区とも5月上旬は「やや低め」で5月中旬に「平年並み」となりましたが、5月下旬以降6月中旬時点で「やや低め～かなり低め」と低め傾向が継続しています。



《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況でした。昨年（平成22年）同様、春季の海水温が低め傾向にあり、来遊の遅れが心配されましたが、漁獲量は昨年を上回り、平年並みの漁況でした。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマイワシ主体の漁況でした。今年（平成23年）のマイワシの漁獲量は1月～5月で既に1万5千トンを超え、1万トンを超えるのは平成11年以来久しぶりです。この豊漁がマイワシ資源の回復の兆しであることを期待します。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体の95%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年並みでした。西郷地区（属地5トン以上）でもスルメイカ主体（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年を上回りました。6月に入り浜田地区では少しですがケンサキイカが水揚げされ始めました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではスルメイカ、アナゴ類、ムシガレイ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は13.1トンで、前年・平年を上回り、好調に推移しました。カレイ類では、ムシガレイは平年の7割の水揚げに止まりましたが、ソウハチ、ヤナギムシガレイは平年並み～やや上回る水揚げとなりました。また、キダイは前月に引き続き好調に推移し、平年の2.8倍の漁獲がありました。このほか、ケンサキイカが平年の1.8倍、アナゴ類が平年の1.7倍の水揚げがあり、好調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、両地区とも前年、平年を下回りました。ソウハチは両地区とも平年の6～8割の水揚げに止まり、低調に推移しました。また、この時期量がまとまるニギスも低調であり、平年の3～6割の水揚げとなりました。一方、アナゴ類は好調で、平年の2～2.4倍の水揚げがありました。

【定置網漁業】

石見地区では漁獲の主体はマアジ・ブリ・ケンサキイカで、1統当りの漁獲量はマアジは平年並みでしたがブリが平年の5割であったため、全統の総漁獲量は平年の8割に止まりました。出雲地区では主体はマアジ・ブリで、1統当りの漁獲量はマアジが平年の9割、ブリが平年の3割であったため、全統の総漁獲量は平年の6割でした。隠岐地区でも主体はマアジ・ブリで、1統当りの漁獲量はマアジが平年の2.6倍でしたがブリが平年の3割であったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。

【釣・罾】

石見地区ではブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は31kgで平年を上回りました。出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は38kgで平年を上回りました。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、スルメイカ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は22kgで平年並みでした。

【平成23年5月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	291トン	363%	66%	11.6トン	291%	73%	○
	西郷	マイワシ	9,296トン	110%	197%	123.9トン	124%	218%	◎
	浦郷	マイワシ	5,840トン	146%	215%	99.0トン	159%	238%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	5トン	—	10%	189 kg	248%	90%	○
	西郷	スルメイカ	16トン	99%	111%	117 kg	154%	140%	◎
沖合 底びき網	浜田	スルメイカ、アナゴ類、ムシガレイ	352トン	136%	99%	13.1トン	126%	108%	○
小型 底びき網	久手	ソウハチ	151トン	94%	80%	620kg	85%	79%	▲
	和江	ソウハチ	289トン	118%	106%	733kg	92%	91%	○
定置網 (大型)	浜田	マアジ、ケンサキイカ、ブリ	14トン	246%	84%	609kg	160%	82%	○
	美保関	マアジ、ブリ	68トン	48%	49%	776kg	55%	55%	▲
	浦郷	マアジ、ブリ	27トン	57%	75%	950kg	45%	70%	▲
釣り・縄	仁摩	メダイ、ブリ	14トン	143%	117%	45 kg	173%	173%	◎
	大社	ブリ	31トン	126%	71%	49 kg	114%	97%	○
	西郷	スルメイカ、カサゴ・メバル類、メダイ	7トン	75%	69%	30 kg	100%	97%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした